

株式会社トラスト(3347)

2007年3月期第1四半期 財務・業績の概況

目次

＝会社概要＝

1. 2007年3月期第1四半期
決算報告

2. 資料

3 P

4 P

13 P

会社概要

- 会社名 株式会社 トラスト
- 英訳名 TRUST CO. , LTD .
- 設立年月日 1988年12月
- 代表者

代表取締役社長	西山 勝晃
取締役営業部長	土橋 一勝
社外取締役	伊藤 誠英
- | | |
|-------|-------|
| 常勤監査役 | 齋藤 脩 |
| 社外監査役 | 柴田 和範 |
| 社外監査役 | 鹿倉 祐一 |
- 本社所在地 愛知県名古屋市中区錦三丁目10番32号
- 売上高 50億4千489万円 (2006年3月期)
- 従業員 49名 (2006年3月31日現在)
- 資本金 13億4,900万円 (2006年3月31日現在)

沿革

- 1988年12月 兵庫県尼崎市道意町において、株式会社トラストを資本金10百万円にて設立。中古自動車の輸出を開始
- 1989年1月 中古自動車をニュージーランドへ輸出開始
- 1990年12月 名古屋市中区錦3丁目2番26号に本社を移転
- 1996年8月 ウェブサイトによる中古自動車の輸出販売を開始
- 1996年9月 中古自動車の在庫管理及び整備の効率化を図るため、名古屋港にストックヤードを新設
- 1999年3月 販売台数の拡大に伴い、1,200台まで収容できるストックヤードを名古屋港に拡張
- 2003年3月 株式会社ホンダベルノ東海(現・VTホールディング株式会社)の子会社として、新体制で営業開始
- 2003年8月 名古屋市中区錦3丁目10番32号に本社を移転
- 2003年8月 販売台数の拡大に伴い、2,000台まで収容できるストックヤードを名古屋港に増設
- 2004年2月 横浜港からの輸出を開始
- 2004年11月 東京証券取引所マザーズ市場へ上場
- 2005年11月 パナマ共和国に船舶保有を目的とした100%出資在外子会社AMANA SHIPHOLDING S.A.(現連結子会社)を設立。
- 2005年12月 ザンビア共和国ルサカ市において、直販店第一号店を開店。



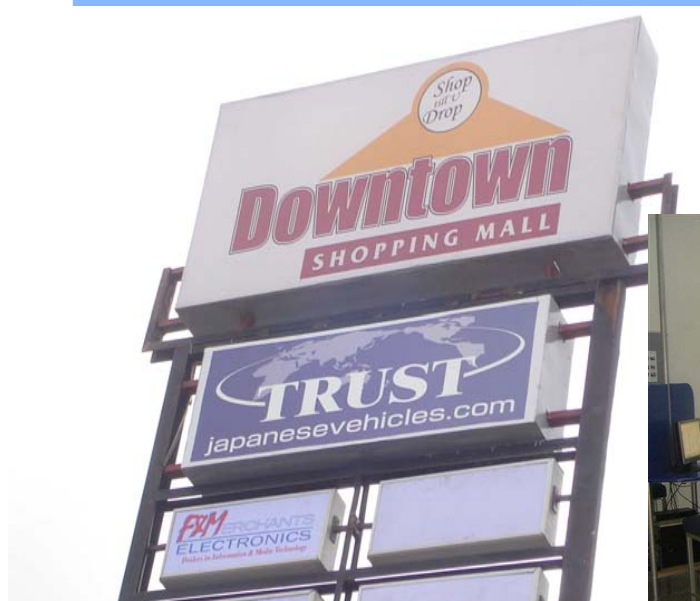
1. 2007年3月第1四半期決算報告



決算概要(ポイント)

- @ショップ(ザンビア共和国ルサカ市)開設

- ・主力エリアであるアフリカのザンビア共和国の首都ルサカ市のショッピングモールにインターネットカフェスタイルのショップ(@ショップ)をオープンし更なるカスタマーサービスの向上。



● アフリカ及び国内での広告宣伝活動

日本国内での外国人向け雑誌、ガイドマップ内及びアフリカ、ザンビア共和国内での有名新聞内での広告宣伝活動の実施



ザンビア国内 (The Post) への広告



Japanzine 1/3 Page
71 mm (W) X 277 mm (H)
Nagoya InfoGuide 1/3
92 mm (W) X 80 mm (H)
Nagoya Coupon Map
92 mm (W) X 80 mm (H)

国内ガイドマップ等への広告

決算業績概要(連結)

■ 損益計算書 (前年同期比較)

(百万円)

科目	前期1Q	当期1Q	増減率 (%)
売上高	1,401	1,097	△21.7
売上原価	1,000	747	△25.3
売上総利益	400	350	△12.5
販売費及び一般管理費	214	171	△20.0
営業利益	186	178	△4.3
営業外収益	12	60	400.0
営業外費用	7	61	771.4
経常利益	191	176	△7.8
特別利益	—	2	—
特別損失	—	10	—
当期純利益	112	97	△13.3

販売員確保、
宣伝広告再開、
及びショップ
のオープンが
当四半期後半に
なった為、一時的に
売上高に影響が出たが、
前期から取り組んでいた
台当たり利益の向上
及び車両管理、
顧客管理システムの
構築がほぼ完了した
ことにより第2四半期
以降の拡販体制が
整備された状況

売上総利益率の向上

前期1Q 28.6%

当期1Q 31.9%

 子会社による受取りリース料
(46百万円)等

 子会社での保有船舶の減価
償却費(43百万円)等

※前期1Qは単体の数値であります。

決算業績概要(連結)

■ 損益計算書 2 (業績予想進捗率)

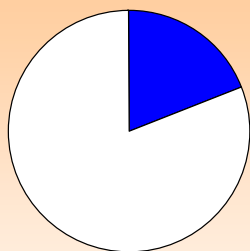
通期予想 (当期)

科目	金額 (百万円)
売上高 (11,100台)	5,761
総利益	1,654
販売費管理費	796
経常利益	852
当期純利益	502

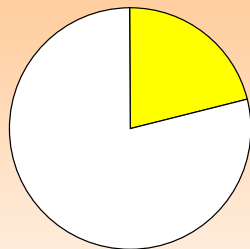
実績 (当期1Q)

科目	金額 (百万円)	進捗率 (%)
売上高 (2,046台)	1,097	19.0
総利益	350	21.1
販売費管理費	171	21.4
経常利益	176	20.6
当期純利益	97	19.3

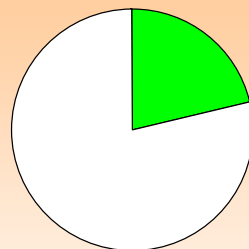
webサイトの販売に加え、現地店舗においての対面販売強化、地域に密着した顧客への細やかなフォロー、販売後のアフターサービス、既納客への積極的な代替のアプローチなどを行い第2四半期以降は売上高を増加。



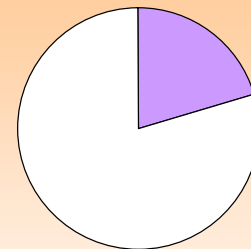
売上高



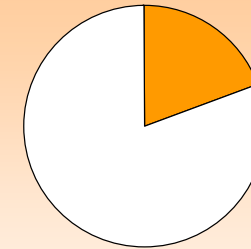
総利益



販売管理費



経常利益



当期純利益

決算業績概要(連結)

■ 貸借対照表及びキャッシュ・フロー計算書

(百万円)

科目	前期末	当期10末	増減 (%)
流動資産	1,981	1,861	△6.0
現金及び預金	732	616	△15.8
売掛金	88	83	△5.6
たな卸資産	398	471	18.3
その他	763	691	△9.4
固定資産	1,939	1,806	△6.8
有形固定資産	111	74	△33.3
無形固定資産	41	38	△7.3
投資その他の資産	1,786	1,693	△5.2
資産計	3,921	3,668	△6.4

科目	前期末	当期10末	増減 (%)
流動負債	814	541	△33.5
買掛金	33	45	36.3
前受金	529	373	△29.4
その他	252	123	△51.1
固定負債	0	0	△31.8
負債計	815	541	33.6
資本計	1,349	1,349	—
負債及び資本	3,921	3,668	△6.4
自己資本比率	79.2	85.2	—

※前期末は単体の数値であります。

区分	前期1Q	当期1Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	△101	△256
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2	△17
財務活動によるキャッシュ・フロー	△32	△50
現金及び現金同等物の増減額	△139	△332
現金及び現金同等物の期末残高	3,170	1,015

※前期1Qは単体の数値であります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)
 主に法人税等の支払額160百万円ほか、在庫車両の充実を図ったことによるたな卸資産の増加80百万円及び顧客からの受注の減少に伴う前受金の減少等による其他流動負債の減少181百万円によるもの。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)
 主に有価証券の取得による支出99百万円があったことによるもの。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)
 主に配当金の支払額33百万円によるもの及び自己株式の取得による支出18百万円によるもの。

決算業績概要(単体)

■ 損益計算書 (前年同期比較)

(百万円)

科目	前期1Q	百分比 (%)	当期1Q	百分比 (%)	増減 (%)
売上高	1,401	100.0	1,097	100.0	△21.6
売上原価	1,000	71.4	747	68.1	△25.2
売上総利益	400	28.6	350	31.9	△12.6
販売費及び 一般管理費	214	15.3	171	15.6	△20.1
営業利益	186	13.3	178	16.3	△4.0
営業外収益	12	0.9	23	2.1	87.3
営業外費用	7	0.6	18	1.7	146.3
経常利益	191	13.6	183	16.7	△3.9
特別利益	—	—	2	0.3	—
特別損失	—	—	10	0.9	—
純利益	112	8.0	103	9.5	△7.7

差異分析

■ 地域別売上高（地域構成）

前期1Q

地域	台数（台）	金額（千円）	金額構成（%）
アフリカ	1,663	821,955	58.7
中南米	691	260,535	18.6
オセアニア	423	208,976	14.9
アジア	42	20,058	1.4
ヨーロッパ	250	72,695	5.2
国内	41	16,901	1.2
合計	3,110	1,401,123	100.0

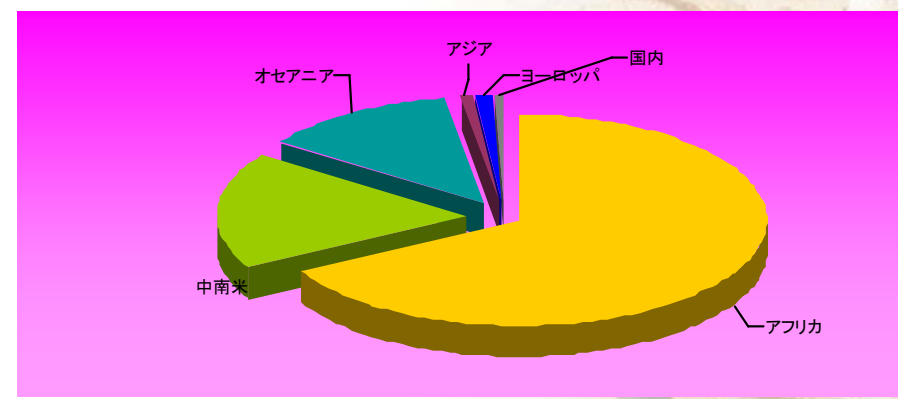
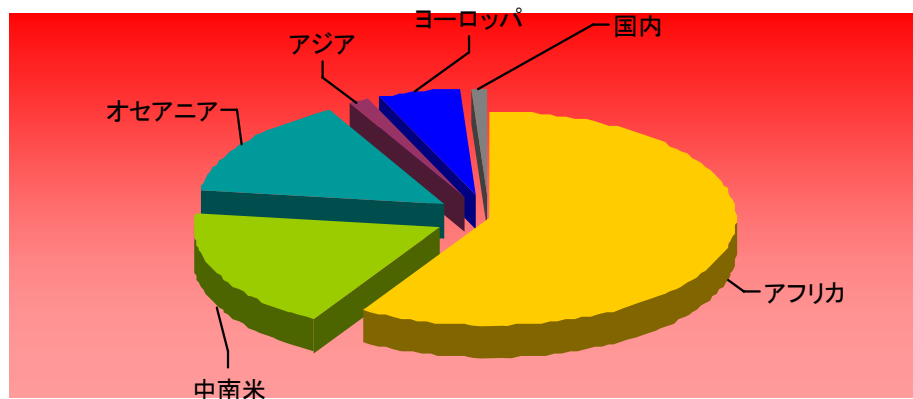
当期1Q

地域	台数（台）	金額（千円）	金額構成（%）
アフリカ	1,381	734,525	66.9
中南米	368	196,540	17.9
オセアニア	208	140,502	12.8
アジア	12	608,860	0.6
ヨーロッパ	30	13,134	1.2
国内	47	6,565	0.6
合計	2,046	1,097,357	100.0

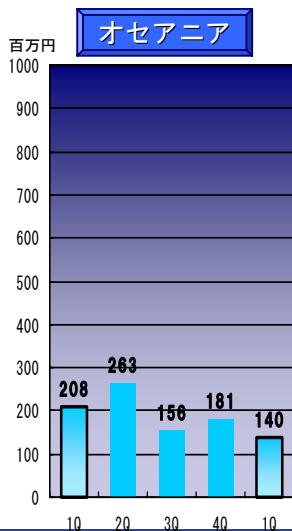
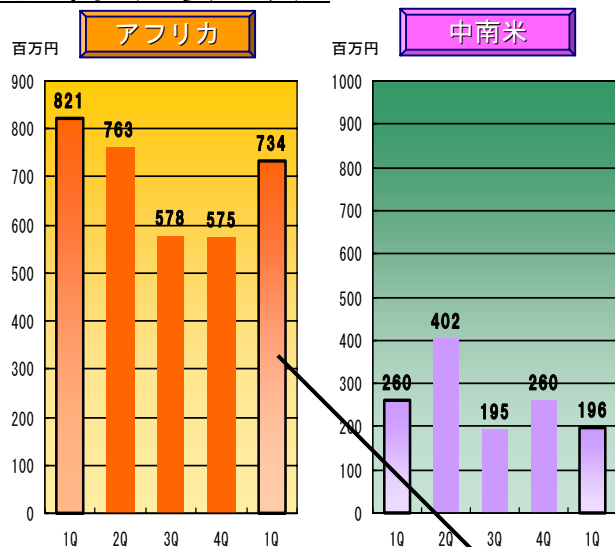
平均単価@ 450,521円



平均単価@ 536,342円



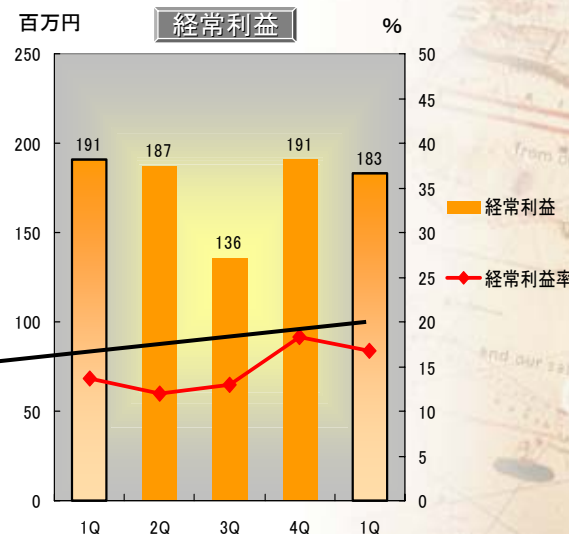
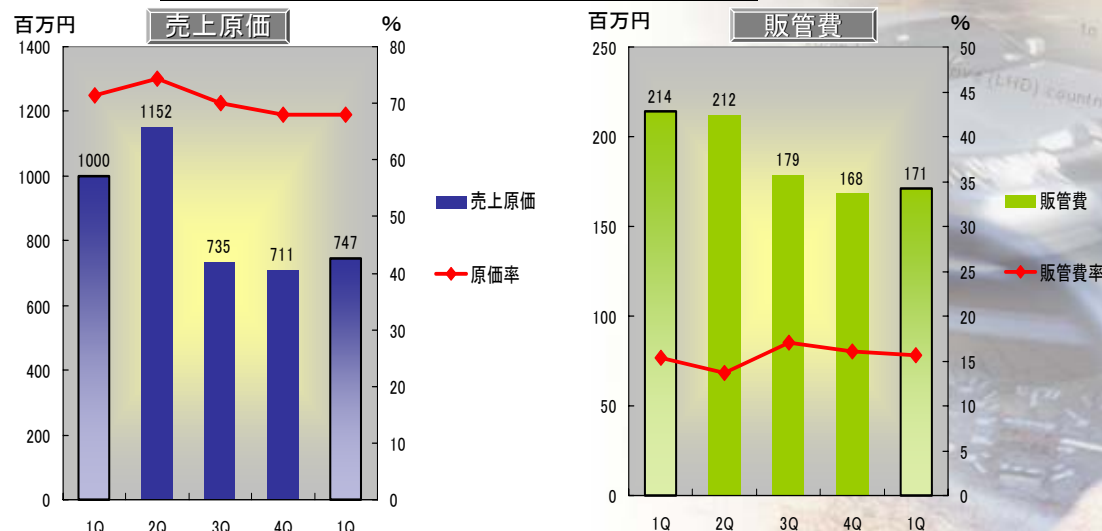
■ 四半期別推移 売上高（主要地域）



•現地店舗においての
対面販売強化、販売後
のアフターサービスによる
アフリカ地域での売上
増加。

•台当り利益の向上による
利益率の確保

売上原価、販売管理費及び経常利益

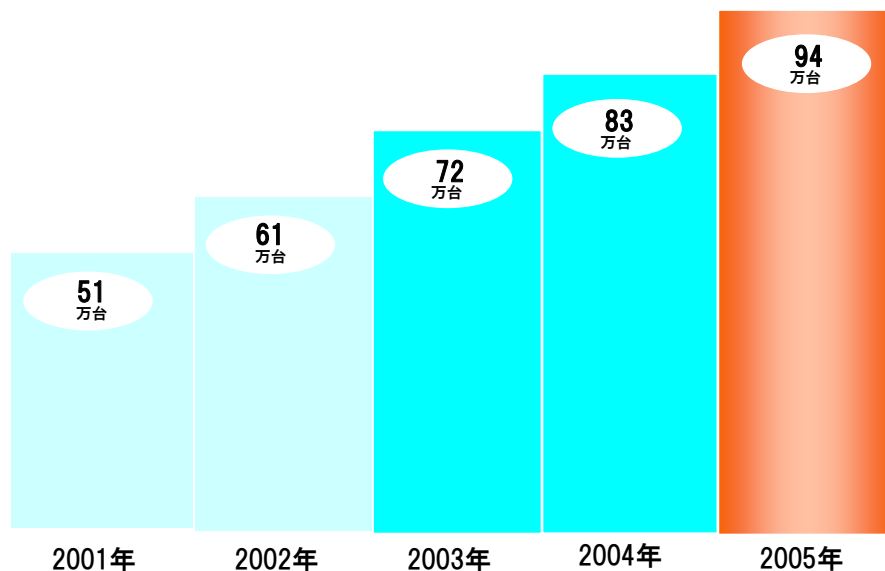


2. 資料



事業環境と当社の売上高及び経常利益の推移

日本からの中古車輸出台数



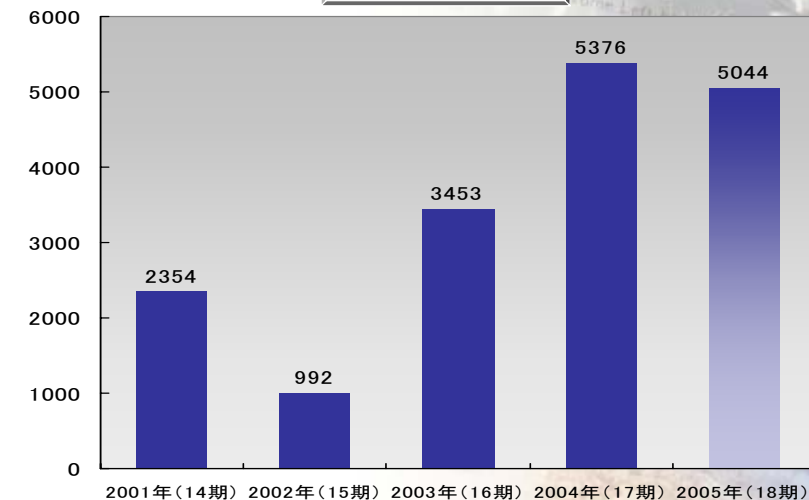
国産車メーカーの輸出力の向上によって世界的に日本車の信頼性と知名度がアップ。

ネットオークション(国内外)の市場規模の拡大、インフラの整備によって市場の流通性がアップ。

2005年の自動車リサイクル法施行

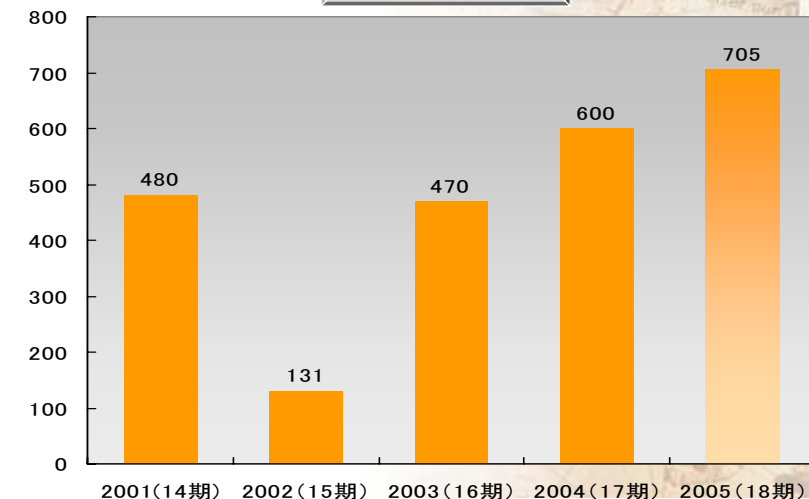
百万円

売上高



百万円

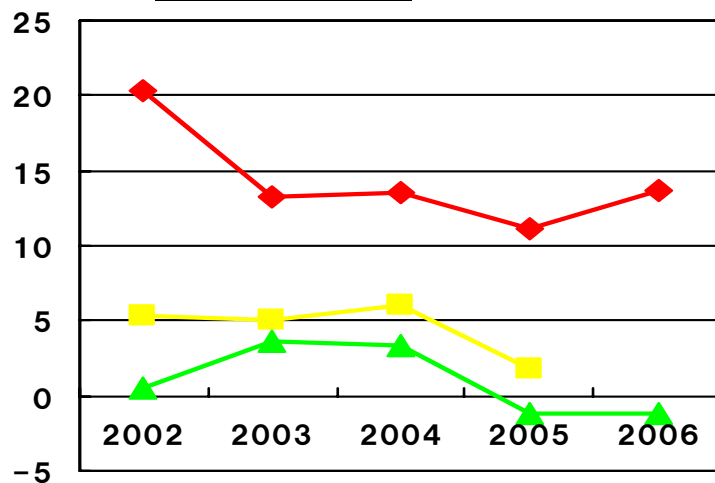
経常利益



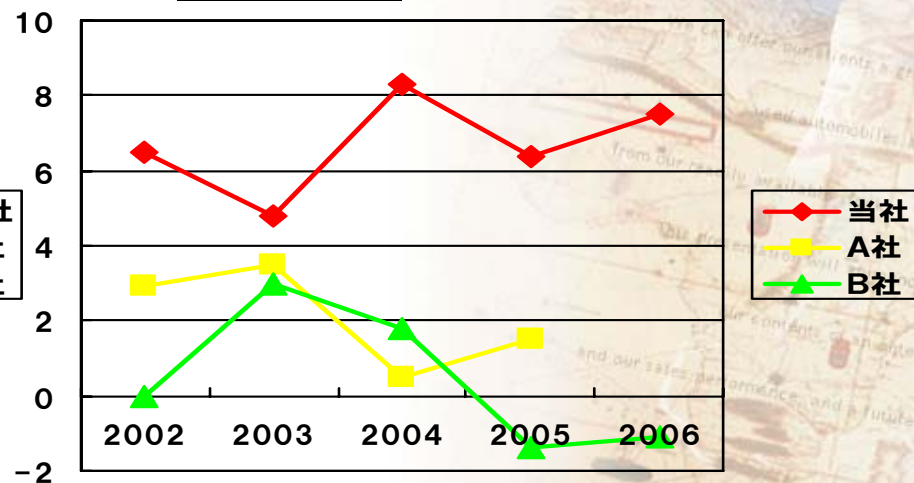
同業他者比較

	当 社 (2006/3期)	利益率	A社 (2005/12期)	利益率	B社 (2006/6期)	利益率
売上高	5,044		34,884		5,798	
営業利益	672	13%	269	0%	△64	△1%
経常利益	692	13%	604	1%	△69	△1%
純利益	285	8%	530	1%	△66	△1%

➤売上高経常利益率



➤売上高純利益率



連絡先



情報開示担当

株式会社トラスト 管理部

Tel:052-219-9058

Fax:052-219-9028

E-mail

ir@japanesevehicles.com

IRサイト (和文)

E-mail ir@japanesevehicles.com

URL www.trust-ltd.co.jp

顧客サイト (英文)

E-mail info@japanesevehicles.com

URL japanesevehicles.com